

## 令和2年度 再々評価点検表（内部評価）

### 1 事業概要

事業名	一般府道 大阪枚岡奈良線 交通安全施設整備事業									
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）									
事業箇所	東大阪市松原地内									
再々評価理由	再評価実施後5年間を経過した時点で継続中									
事業目的	<p>本路線は旧国道170号を起点に東大阪市の中心地域を東西に横断し、大阪市内に至る幹線道路である。</p> <p>本事業は路線全区間のうち、国道170号から市道加納玉串線までの区間について、現況の歩道幅員が狭いことから、歩道の拡幅整備により歩行者等の安全を確保すること、また、右折レーンの設置により市道加納玉串線へのアクセスを円滑にし、交通流の分散を行うことを目的とする。</p>									
事業内容	<p>歩道拡幅及び右折レーン設置</p> <p>事業延長：0.9km</p> <p>道路幅員：25.0m</p> <p>歩道拡幅（現況）1.5m（北側）、1.5m（南側） （計画）3.5m（北側）、6.5m（南側）</p> <p>右折レーン設置 3.0m</p>									
事業費 （ ）内の数値は 前回評価時点のもの	<p>全体事業費：約32.0億円（約32.0億円）〔国：17.6億円、府：12.4億円〕</p> <table border="1"> <tr> <td>(内訳)</td> <td>【工事費の内訳】</td> </tr> <tr> <td>調査費等 約0.3億円（約0.3億円）</td> <td>歩道設置工 約3.0億円（約3.0億円）</td> </tr> <tr> <td>用地費 約20.0億円（約20.0億円）</td> <td>舗装工 約8.0億円（約8.0億円）</td> </tr> <tr> <td>工事費 約11.7億円（約11.7億円）</td> <td>横断歩道撤去工 約0.7億円（約0.7億円）</td> </tr> </table>		(内訳)	【工事費の内訳】	調査費等 約0.3億円（約0.3億円）	歩道設置工 約3.0億円（約3.0億円）	用地費 約20.0億円（約20.0億円）	舗装工 約8.0億円（約8.0億円）	工事費 約11.7億円（約11.7億円）	横断歩道撤去工 約0.7億円（約0.7億円）
(内訳)	【工事費の内訳】									
調査費等 約0.3億円（約0.3億円）	歩道設置工 約3.0億円（約3.0億円）									
用地費 約20.0億円（約20.0億円）	舗装工 約8.0億円（約8.0億円）									
工事費 約11.7億円（約11.7億円）	横断歩道撤去工 約0.7億円（約0.7億円）									
事業費の変更理由	—									
維持管理費	約750万円/年									

### 2 事業の必要性等に関する視点

	事前評価時点 H13 再評価時点 H22	前回評価時点 H27	再々評価時点 R2	変動要因の分析
事業を巡る社会 経済情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>本路線は、東大阪市の中心市街地形成地域であるとともに、行政・文化施設地域でもある。</li> <li>現在、当該区間には狭い箇所でも幅1m程度の歩道しか整備されておらず、朝夕の通勤通学時には、歩行者、自転車、自動車が車道を通行し、自動車と輻輳して非常に危険な状況となっている。</li> </ul> <p>【事故件数】 平成18年度：16件 平成19年度：15件 平成20年度：20件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年3月2日に令和元年ラグビーワールドカップが花園ラグビー場で開催決定。</li> <li>平成27年度に車道及び北側歩道整備が完了予定。</li> </ul> <p>【事故件数】 平成24年度：21件 平成25年度：16件 平成26年度：18件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年、東大阪市の隣接する花園中央公園の管理運営に民間活力を導入することで、公園の魅力を高めるため、パークPFI制度を実施。令和2年にプロサッカーチームFC大阪等で構成される企業が指定管理者に決定。</li> </ul> <p>【事故件数】 平成29年度：22件 平成30年度：16件 平成31年度：13件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花園中央公園の管理運営に民間活力を導入することにより、公園の魅力向上と利便性向上に伴う来場者数と周辺の交通量の増加及び歩行者等の増加が見込まれる。</li> </ul>
地元の 協力体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元市から早期整備の要望がある。</li> <li>地元市が用地取得に協力。</li> </ul>			
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全事業における費用便益の分析手法が確立されていない。</li> </ul>			
事業効果の 定性的分析 (安全・安心、活力、 快適性等の有効性)	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車道、歩道が分離構造となり、歩行者、自転車等の安全が確保される</li> </ul> <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが安心して社会参加できる生活空間の形成に寄与する（歩行者交通等の利便性向上）</li> <li>市道加納玉串線へのアクセス性向上など、中河内地域の交通ネットワークが強化される</li> </ul> <p>【快適性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>十分な幅員が確保された歩道により、快適性が向上する</li> </ul> <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路利用者、地域住民</li> </ul>			

	事前評価時点 H13 再評価時点 H22	前回評価時点 H27	再々評価時点 R2	変動要因の分析
事業の進捗状況 ＜経過＞ ① 事業採択年度 ② 事業着工年度 ③ 完成予定年度	①平成 13 年度 ②平成 13 年度 ③平成 24 年度 (H20 年度以降休止)	①平成 13 年度 ②平成 13 年度 ③平成 31 年度	①平成 13 年度 ②平成 13 年度 ③令和 5 年度	・用地取得交渉に 期間を要したこと による期間延 伸
＜進捗状況＞	・全体 76% (24.2 億円/32 億円) ・用地 85% (17 億円/20 億円) ・工事 59% (6.9 億円/11.7 億円) ・調査費等 100% (0.3 億円/0.3 億円)	・全体 81% (25.8 億円/32 億円) ・用地 88% (17.6 億円/20 億円) ・工事 68% (7.9 億円/11.7 億円) ・調査費等 100% (0.3 億円/0.3 億円)	・全体 86% (27.5 億円/32 億円) ・用地 88% (17.6 億円/20 億円) ・工事 82% (9.6 億円/11.7 億円) ・調査費等 100% (0.3 億円/0.3 億円)	
事業の必要性等に関する視点	・歩行者等の安全確保を目的とする事業の必要性に変化はなく、花園中央公園の管理運営に民間活力を導入しており、園内に飲食店の設置やバーベキューエリアの新設などが予定され、公園の魅力や利便性が向上することに伴い利用者増が想定されるため、本事業の必要性はさらに高まっている。			

### 3 事業の進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業全体の進捗率は 86% であり、車道及び北側歩道については平成 27 年度に完成済、また、南側歩道についても、用地を取得できた延長約 0.7 k m 区間について完成している。</li> <li>残る南側歩道の延長約 0.2 k m 区間についても、東大阪市による用地交渉が積み重ねられており、用地取得後、速やかに工事に着手する予定。</li> </ul>
--------------	---

### 4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	<p>(コスト縮減)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は現場発生土を公共工事間で流用するなど、コスト縮減に努めている。</li> </ul> <p>(代替案立案等の可能性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業全体の進捗率は 86% であり、車道及び北側歩道が完成済、また、南側歩道についても、用地を取得できた延長約 0.7 k m 区間が完成していることから代替案立案の余地はない。</li> </ul>
---------------------	--

### 5 特記事項

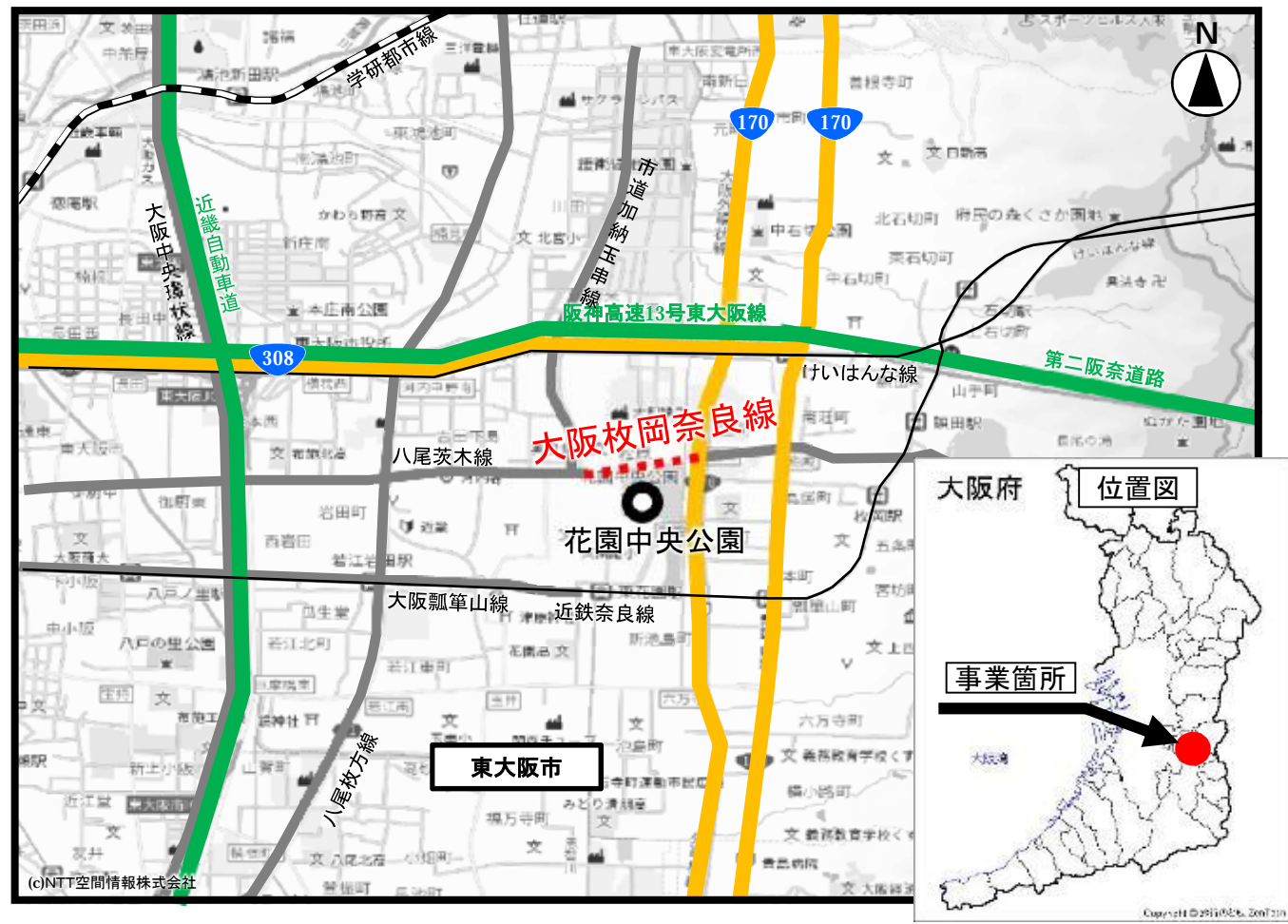
自然環境等への影響とその対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺道路の渋滞が緩和され、大気質への負荷物質排出量の抑制に寄与する。</li> <li>周辺は市街地が形成されており、新たに自然環境へ与える影響は少ない。</li> </ul>
前回評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	H27 大阪府建設事業評価審議会意見具申 「事後評価」の際に、整備前後の事故件数等を比較・分析するなど、効果検証を行う
上位計画等	○大阪府都市整備中期計画（案）（H28.3）
その他特記事項	—

### 6 評価結果

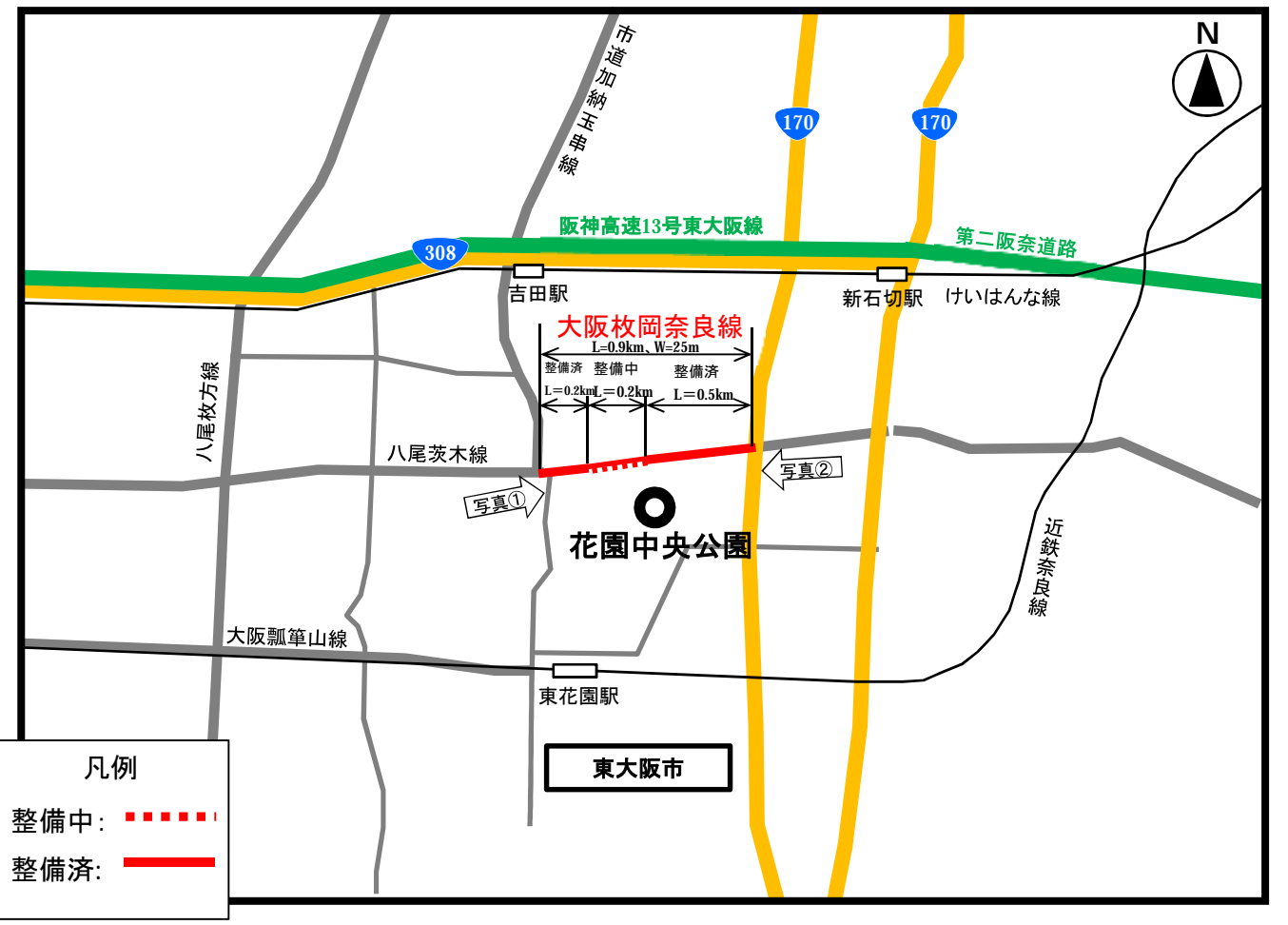
評価結果	<p>○事業継続</p> <p>＜判断の理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩道幅員が狭いことから、歩道の拡幅整備により歩行者等の安全確保を目的とする事業の必要性に変化はない。</li> <li>事業全体の進捗率は 86% であり、車道及び北側歩道については平成 27 年度に完成済、また、南側歩道についても、用地を取得できた延長約 0.7 k m 区間について完成している。</li> <li>残る南側歩道の延長約 0.2 k m 区間についても、東大阪市による用地交渉が積み重ねられており、用地取得後、速やかに工事に着手する予定。</li> <li>花園中央公園の管理運営に民間活力を導入しており、園内に飲食店の設置やバーベキューエリアの新設などが予定され、公園の魅力や利便性が向上することに伴い利用者増が想定されるため、本事業の必要性はさらに高まっている。</li> </ul> <p>以上の理由により、事業を継続する。</p>
------	--

令和2年度 再々評価（一般府道 大阪枚岡奈良線 交通安全施設整備事業）

事業箇所図



平面図



現況写真

写真①



写真②



断面図

